

2 主要業種の動向（基準年の生産ウェイト上位9業種の動向（ウェイト計10,000））

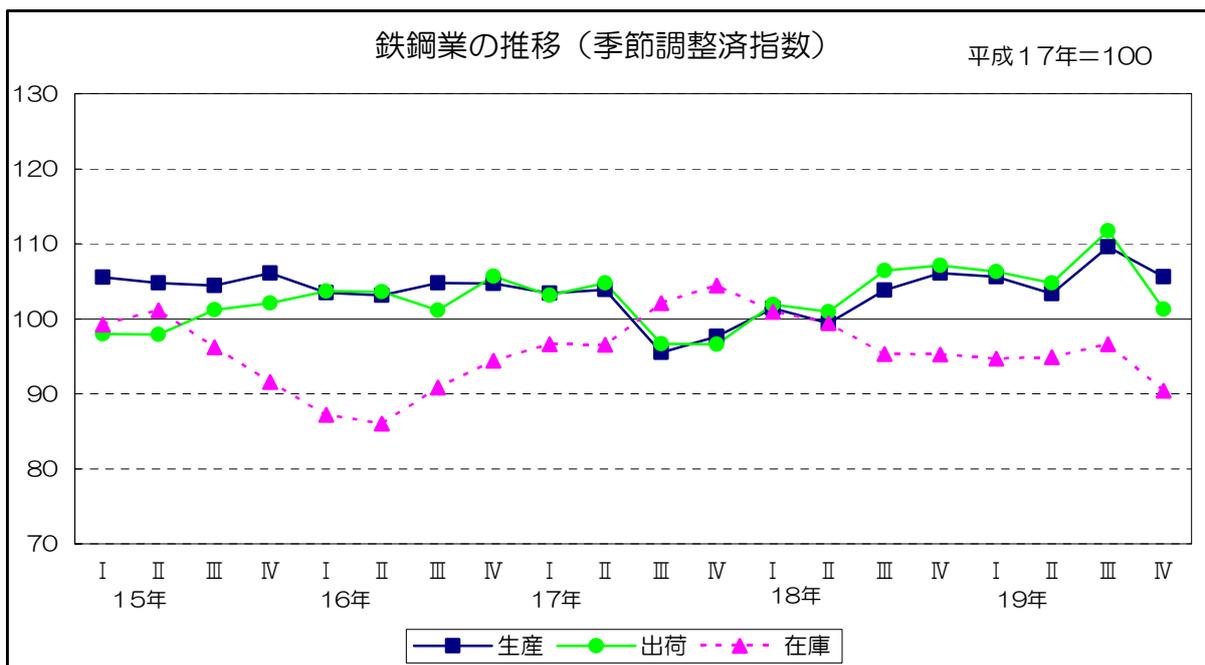
(1) 鉄鋼業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1147.2 生産18業種中3位）
19年の生産は105.9で、前年比3.2%増と2年連続の上昇となった。
これは、形鋼、鋼矢板などが下落したが、粗鋼、鋼半製品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1093.4 出荷18業種中3位）
19年の出荷は105.9で、同2.1%増と2年連続の上昇となった。
これは、形鋼、鋼半製品などが下落したが、特殊鋼冷間仕上鋼材、鋼帯などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1146.8 在庫18業種中3位）
19年の在庫は94.0で、同▲3.9%減と2年連続の下落となった。
これは、特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条などが上昇したが、鋼半製品、特殊鋼冷間仕上鋼材などが下落したことによる。

鉄鋼業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年＝100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	105.1	104.3	100.0	102.6	105.9	105.6	103.3	109.6	105.6
前期（年）比	7.2	▲0.8	▲4.1	2.6	3.2	▲0.5	▲2.2	6.1	▲3.6
前年同期比	—	—	—	—	—	4.4	3.9	5.5	▲0.4
出荷	99.7	103.7	100.0	103.7	105.9	106.3	104.8	111.7	101.3
前期（年）比	5.4	4.0	▲3.6	3.7	2.1	▲0.7	▲1.4	6.6	▲9.3
前年同期比	—	—	—	—	—	4.4	4.5	4.9	▲5.0
在庫	97.0	90.1	100.0	97.8	94.0	94.7	94.9	96.6	90.4
前期（年）比	▲9.4	▲7.1	11.0	▲2.2	▲3.9	▲0.5	0.2	1.8	▲6.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.7	▲5.4	1.2	▲5.4



(2) 金属製品工業

① 生産（付加価値額ウエイト631.2 生産18業種中6位）

19年の生産は84.4で、前年比▲15.3%減と3年連続の下落となった。
これは、スチール又はステンレスシャッターなどが上昇したが、鉄構物、鉄骨などが下落したことによる。

② 出荷（出荷額ウエイト593.3 出荷18業種中7位）

19年の出荷は85.3で、同▲12.5%減と4年連続の下落となった。
これは、ガス湯沸器などが上昇したが、鉄構物、鉄骨などが下落したことによる。

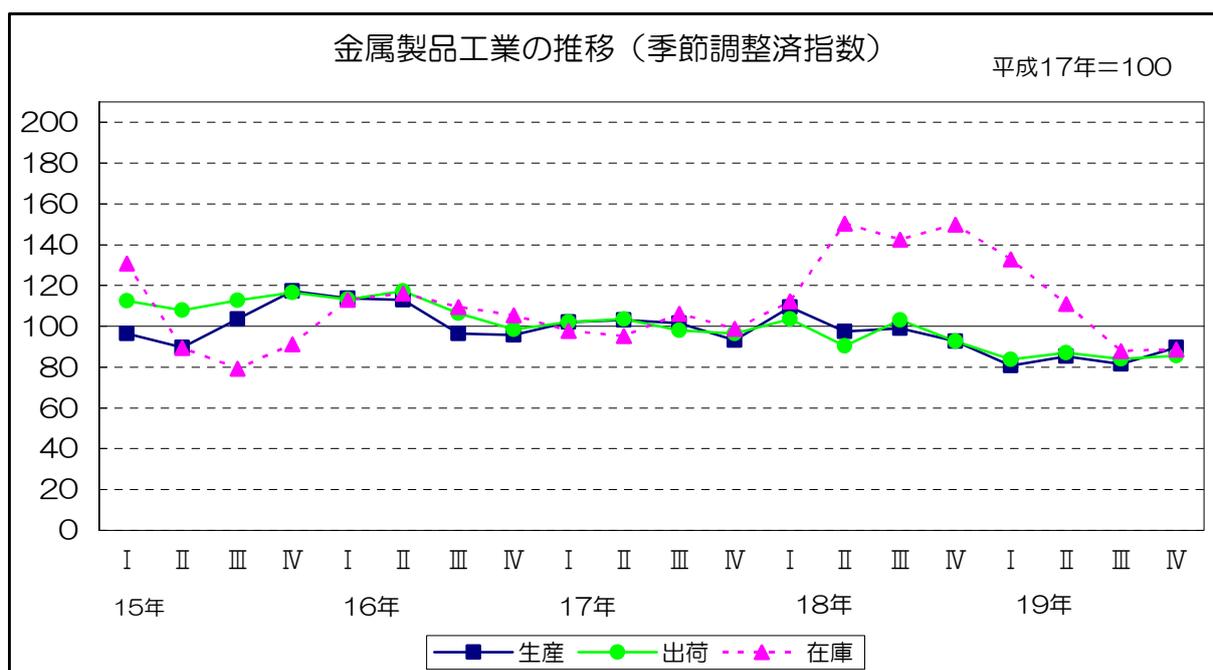
③ 在庫（在庫額ウエイト394.4 在庫18業種中9位）

19年の在庫は102.8で、同26.3%増と2年ぶりの下落となった。
これは、スチール又はステンレスシャッターなどが上昇したが、ガス湯沸器、飲料用缶などが下落したことによる。

金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	101.7	104.9	100.0	99.6	84.4	80.7	85.3	81.6	89.6
前期（年）比	▲1.5	3.1	▲4.7	▲0.4	▲15.3	▲13.0	5.7	▲4.3	9.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲27.0	▲12.0	▲17.4	▲3.0
出荷	112.3	109.2	100.0	97.5	85.3	83.9	87.2	84.1	85.5
前期（年）比	0.1	▲2.8	▲8.4	▲2.5	▲12.5	▲9.5	3.9	▲3.6	1.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲20.1	▲3.5	▲18.0	▲7.2
在庫	95.0	111.1	100.0	139.4	102.8	132.9	111.0	87.8	88.7
前期（年）比	▲46.5	16.9	▲10.0	39.4	▲26.3	▲11.2	▲16.5	▲20.9	1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	17.7	▲25.9	▲38.4	▲40.5



(3) 一般機械工業

① 生産（付加価値額ウェイト904.5 生産18業種中4位）

19年の生産は101.2で、前年比3.0%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、バルブ・コックなどが下落したが、ショベル系掘削機（油圧式）、クレーンなどが上昇したことによる。

② 出荷（出荷額ウェイト790.3 出荷18業種中4位）

19年の出荷は99.1で、同2.4%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、バルブ・コックなどが下落したが、ショベル系掘削機（油圧式）、クレーンなどが上昇したことによる。

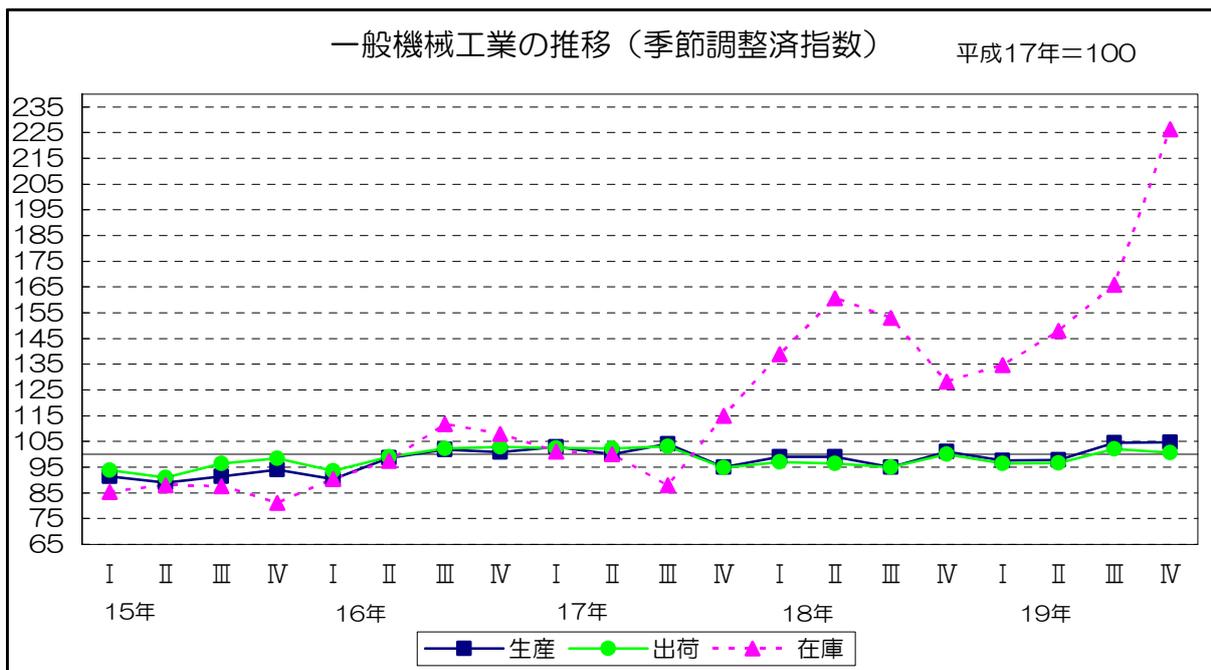
③ 在庫（在庫額ウェイト610.8 在庫18業種中7位）

19年の在庫は166.7で、同14.0%増と2年連続の上昇となった。
これは、鉄鋼用ロールなどが下落したが、ショベル系掘削機（油圧式）などが上昇したことによる。

一般機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	91.4	98.0	100.0	98.3	101.2	97.7	97.9	104.5	104.6
前期（年）比	12.7	7.2	2.0	▲ 1.7	3.0	▲ 3.4	0.2	6.7	0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 1.2	▲ 0.6	10.0	3.8
出荷	95.0	99.4	100.0	96.8	99.1	96.5	96.6	102.0	100.6
前期（年）比	13.4	4.6	0.6	▲ 3.2	2.4	▲ 3.5	0.1	5.6	▲ 1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 0.5	1.0	7.5	1.5
在庫	85.4	102.3	100.0	146.2	166.7	134.7	147.9	165.8	226.3
前期（年）比	▲ 7.2	19.8	▲ 2.2	46.2	14.0	5.0	9.8	12.1	36.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 3.1	▲ 7.4	7.6	73.7



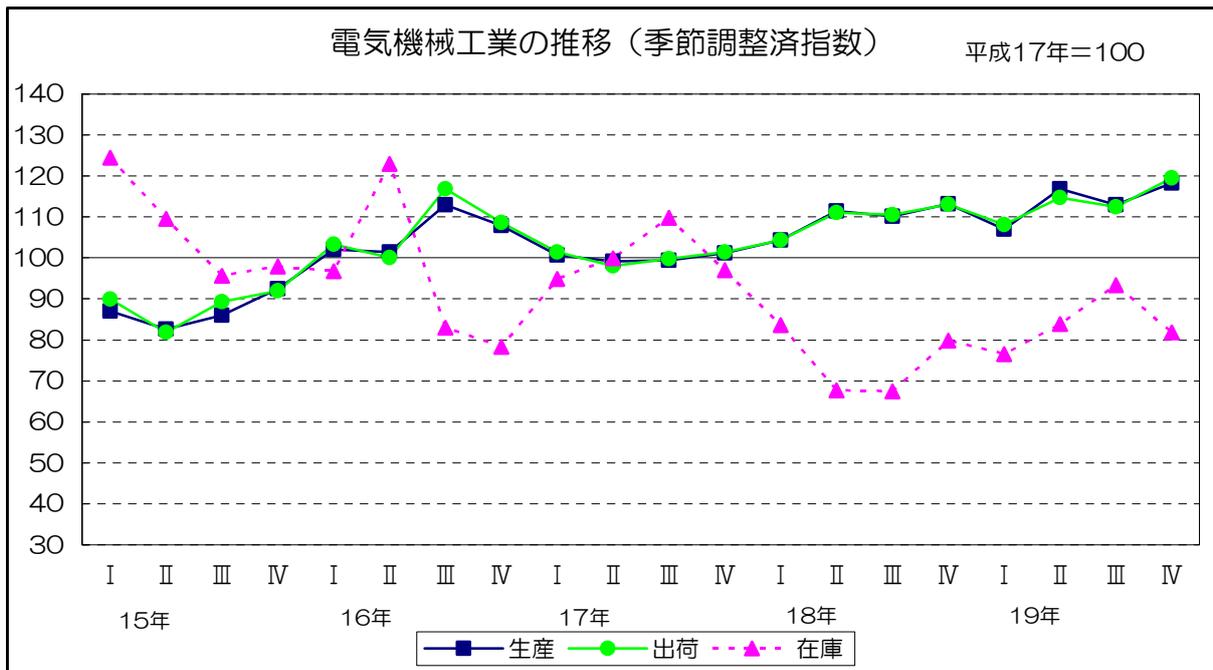
(4) 電気機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト370.3 生産18業種中9位）
 19年の生産は113.6で、前年比3.9%増と2年連続の上昇となった。
 これは、コンデンサなどが下落したが、電力変換装置、開閉制御装置などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト399.7 出荷18業種中9位）
 19年の出荷は113.5で、同3.9%増と2年連続の上昇となった。
 これは、コンデンサなどが下落したが、電力変換装置、開閉制御装置などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト702.6 在庫18業種中6位）
 19年の在庫は83.6で、同10.7%増と2年ぶりの上昇となった。
 これは、食器洗い乾燥機などが下落したが、電力量計などが上昇したことによる。

電気機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	87.5	106.3	100.0	109.3	113.6	107.0	116.9	112.9	118.3
前期（年）比	21.4	21.5	▲ 5.9	9.3	3.9	▲ 5.5	9.3	▲ 3.4	4.8
前年同期比	—	—	—	—	—	1.1	6.3	2.4	5.8
出荷	88.8	107.4	100.0	109.2	113.5	108.2	114.7	112.5	119.5
前期（年）比	18.4	20.9	▲ 6.9	9.2	3.9	▲ 4.3	6.0	▲ 1.9	6.2
前年同期比	—	—	—	—	—	2.1	4.5	1.6	7.0
在庫	107.2	94.3	100.0	75.5	83.6	76.5	83.9	93.3	81.8
前期（年）比	▲ 37.9	▲ 12.0	6.0	▲ 24.5	10.7	▲ 4.1	9.7	11.2	▲ 12.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲ 9.1	23.1	38.4	2.5



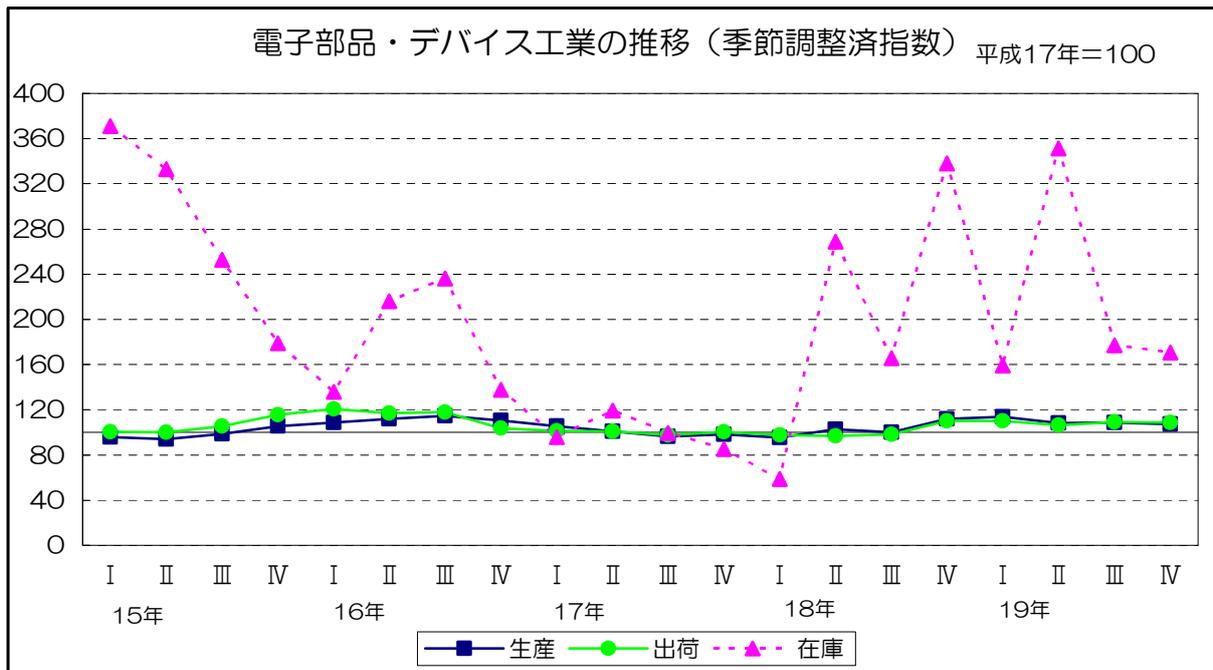
(5) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト553.5 生産18業種中8位）
 19年の生産は109.4で、前年比6.8%増と2年連続の上昇となった。
 これは、線形回路などが下落したが、計数回路、混成集積回路などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト612.8 出荷18業種中6位）
 19年の出荷は108.6で、同8.2%増と2年連続の上昇となった。
 これは、トランジスタなどが下落したが、計数回路、混成集積回路などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト139.5 在庫18業種中15位）
 19年の在庫は214.5で、同3.2%増と2年連続の上昇となった。
 これは、線形回路が下落したが、計数回路が上昇したことによる。

電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	98.4	111.9	100.0	102.4	109.4	113.9	108.2	108.5	107.4
前期（年）比	5.7	13.7	▲ 10.6	2.4	6.8	1.8	▲ 5.0	0.3	▲ 1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	19.8	5.7	8.3	▲ 3.2
出荷	105.2	115.3	100.0	100.4	108.6	109.9	106.2	109.3	108.7
前期（年）比	6.3	9.6	▲ 13.3	0.4	8.2	▲ 0.2	▲ 3.4	2.9	▲ 0.5
前年同期比	—	—	—	—	—	13.2	10.0	11.4	▲ 0.5
在庫	283.8	181.5	100.0	207.9	214.5	159.0	351.5	176.9	170.8
前期（年）比	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 44.9	107.9	3.2	▲ 53.0	121.1	▲ 49.7	▲ 3.4
前年同期比	—	—	—	—	—	169.9	30.8	6.8	▲ 49.5



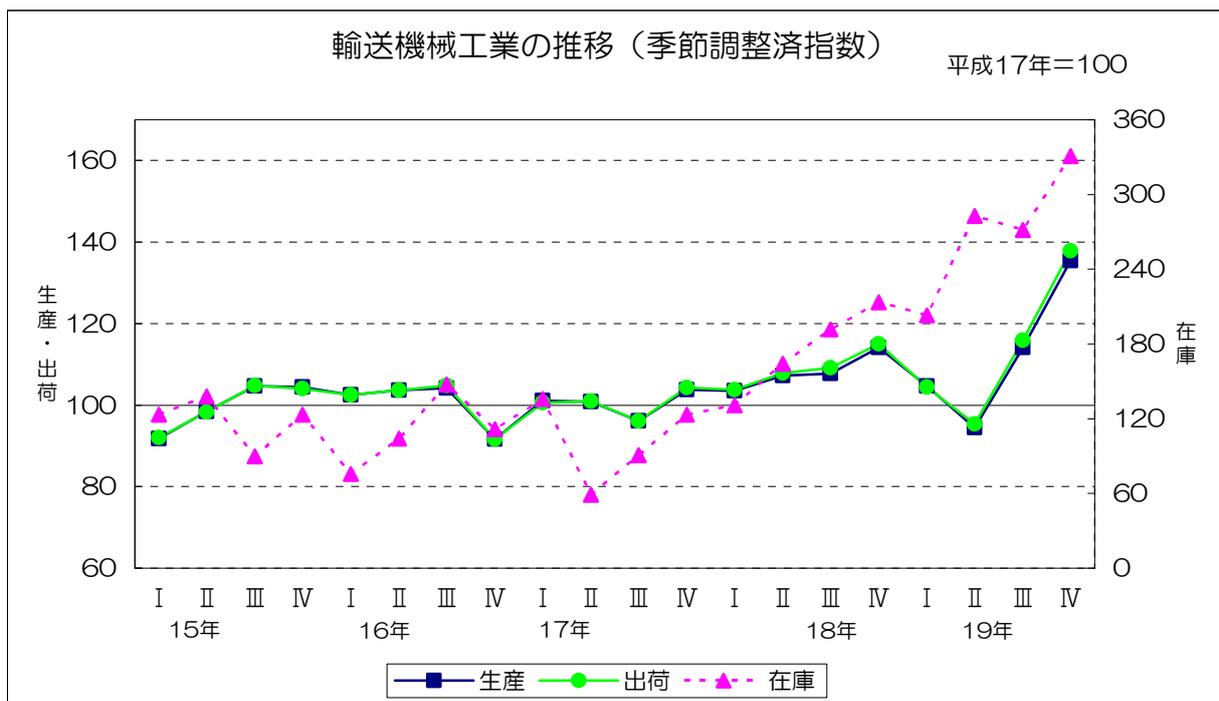
(6) 輸送機械工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト2157.9 生産18業種中1位）
19年の生産は112.3で、前年比4.6%増と2年連続の上昇となった。
これは、小型自動車などが下落したが、普通自動車、自動車部品などが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト2789.1 出荷18業種中1位）
19年の出荷は113.4で、同4.8%増と2年連続の上昇となった。
これは、小型自動車などが下落したが、普通自動車、自動車部品などが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1128.2 在庫18業種中4位）
19年の在庫は267.8で、同53.6%増と2年連続の上昇となった。
これは、普通自動車、小型自動車が増加したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	99.8	100.7	100.0	107.4	112.3	104.7	94.5	114.1	135.4
前期（年）比	15.6	0.9	▲0.7	7.4	4.6	▲8.2	▲9.7	20.7	18.7
前年同期比	—	—	—	—	—	1.4	▲10.9	4.8	21.4
出荷	99.8	100.9	100.0	108.2	113.4	104.4	95.3	115.9	137.8
前期（年）比	16.0	1.1	▲0.9	8.2	4.8	▲9.2	▲8.7	21.6	18.9
前年同期比	—	—	—	—	—	0.7	▲10.7	5.1	22.7
在庫	115.4	110.3	100.0	174.4	267.8	203.0	282.7	271.5	330.8
前期（年）比	93.6	▲4.4	▲9.3	74.4	53.6	▲4.9	39.3	▲4.0	21.8
前年同期比	—	—	—	—	—	47.1	67.5	41.5	58.5



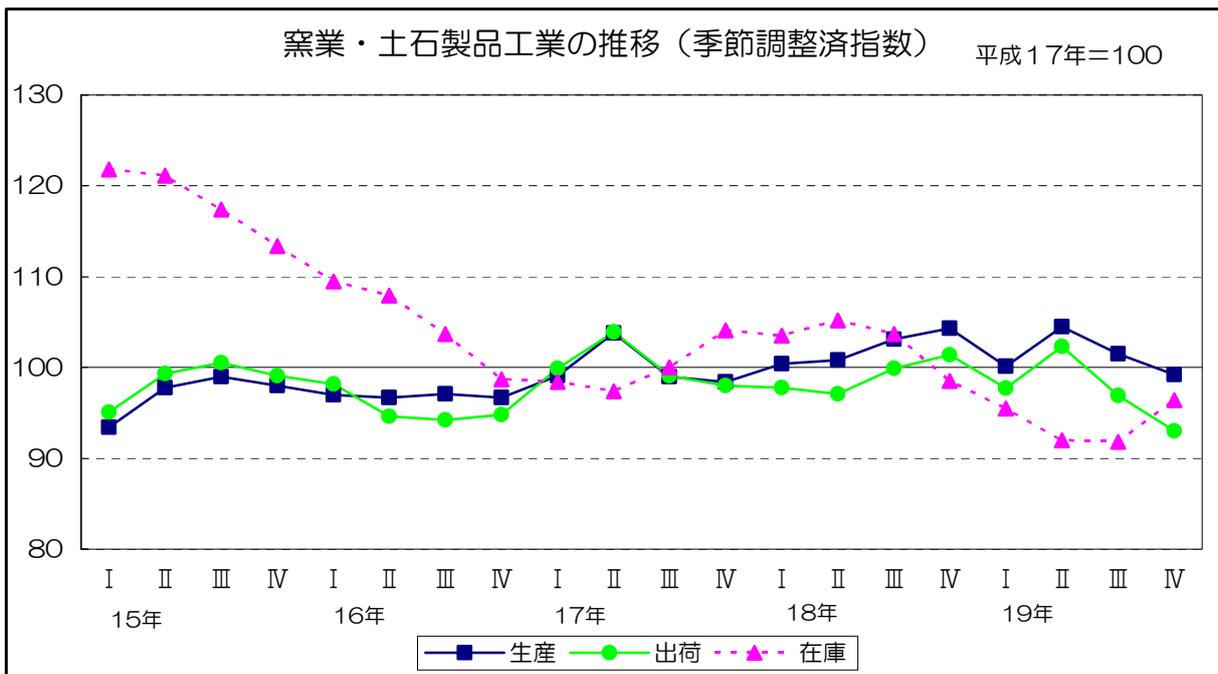
(7) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト592.6 生産18業種中7位）
 19年の生産は101.2で、前年比▲1.3%減と4年ぶりの下落となった。
 これは、生コンクリートなどが上昇したが、ファインセラミックス、セメントなどが下落したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト497.1 出荷18業種中8位）
 19年の出荷は97.4で、同▲1.8%減と2年連続の下落となった。
 これは、生コンクリートなどが上昇したが、衛生用陶磁器、耐火煉瓦などが下落したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト811.8 在庫18業種中5位）
 19年の在庫は93.8で、同▲8.7%減と2年ぶりの下落となった。
 これは、耐火煉瓦などが上昇したが、道路用コンクリート製品などが下落したことによる。

窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年＝100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	96.9	97.3	100.0	102.5	101.2	100.1	104.5	101.5	99.2
前期（年）比	▲18.4	0.4	2.8	2.5	▲1.3	▲4.0	4.4	▲2.9	▲2.3
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.2	2.9	▲1.6	▲5.4
出荷	98.4	96.0	100.0	99.2	97.4	97.7	102.3	96.9	93.0
前期（年）比	▲16.2	▲2.4	4.2	▲0.8	▲1.8	▲3.6	4.7	▲5.3	▲4.0
前年同期比	—	—	—	—	—	0.4	4.8	▲3.1	▲8.1
在庫	118.3	105.2	100.0	102.7	93.8	95.5	92.0	91.8	96.4
前期（年）比	▲3.3	▲11.1	▲4.9	2.7	▲8.7	▲3.0	▲3.7	▲0.2	5.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲8.0	▲12.6	▲11.4	▲2.3



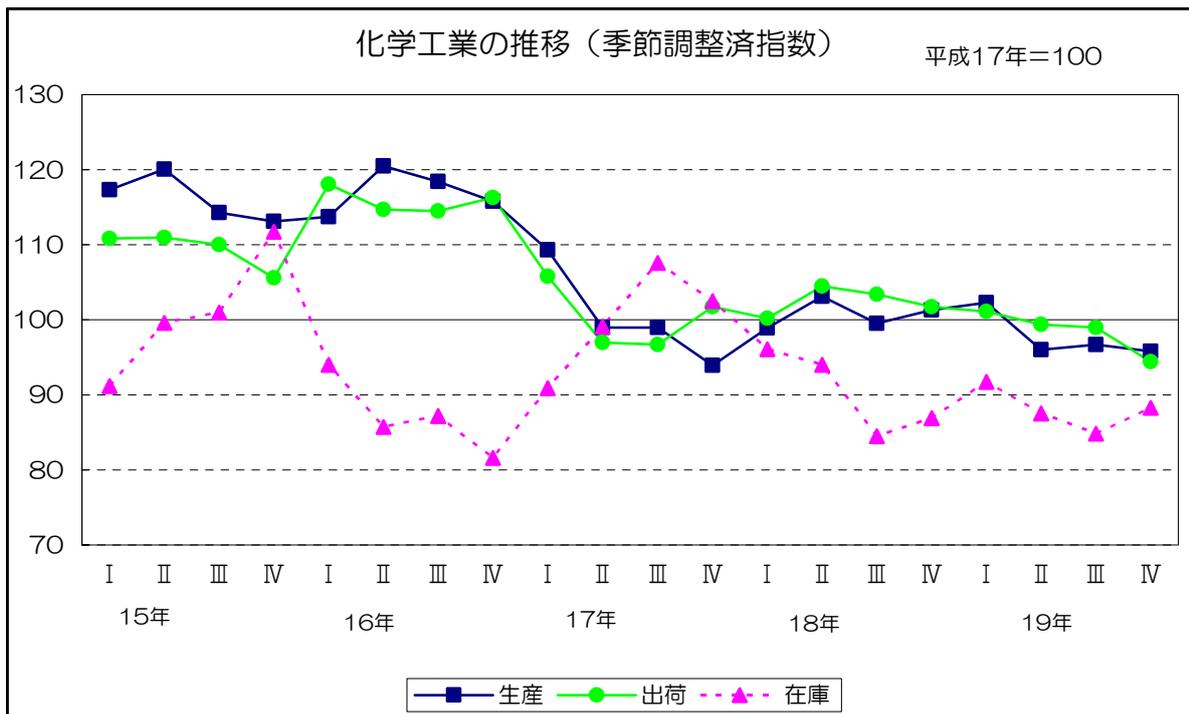
(8) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト886.8 生産18業種中5位）
 19年の生産は97.8で、前年比▲2.8%減と2年ぶりの下落となった。
 これは、触媒などが上昇したが、医薬品、ビスフェノールAなどが下落したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト641.6 出荷18業種中5位）
 19年の出荷は98.6で、同▲3.3%減と2年ぶりの下落となった。
 これは、触媒などが上昇したが、医薬品、トルイレンジイソシアネートなどが下落したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1824.3 在庫18業種中1位）
 19年の在庫は87.9で、同▲2.9%減と2年連続の下落となった。
 これは、ビスフェノールAなどが上昇したが、ジフェニルメタンジイソシアネートなどが下落したことによる。

化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年				
						I	II	III	IV
生産	116.0	117.3	100.0	100.6	97.8	102.3	96.0	96.7	95.8
前期（年）比	2.9	1.1	▲14.7	0.6	▲2.8	1.0	▲6.2	0.7	▲0.9
前年同期比	—	—	—	—	—	4.3	▲7.8	▲2.8	▲5.2
出荷	109.3	116.2	100.0	102.0	98.6	101.1	99.4	99.0	94.4
前期（年）比	▲1.0	6.3	▲13.9	2.0	▲3.3	▲0.6	▲1.7	▲0.4	▲4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	1.4	▲4.5	▲4.3	▲5.8
在庫	100.6	87.7	100.0	90.5	87.9	91.7	87.5	84.8	88.3
前期（年）比	6.1	▲12.8	14.0	▲9.5	▲2.9	5.5	▲4.6	▲3.1	4.1
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.0	▲7.2	0.5	0.8



(9) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1452.7 生産18業種中2位）
19年の生産は95.6で、前年比▲5.9%減と3年ぶりの下落となった。
これは、発泡酒、弁当などが上昇したが、焼酎、菓子などが下落したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1467.5 出荷18業種中2位）
19年の出荷は90.5で、同▲10.3%減と5年ぶりの下落となった。
これは、発泡酒、弁当などが上昇したが、ビールなどが下落したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1400.5 在庫18業種中2位）
19年の在庫は105.7で、同0.7%増と4年連続の上昇となった。
これは、ビールなどが下落したが、のり、砂糖などが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成17年=100

	15年	16年	17年	18年	19年	19年			
						I	II	III	IV
生産	98.7	98.1	100.0	101.6	95.6	96.1	94.7	97.9	93.6
前期（年）比	▲2.1	▲0.6	1.9	1.6	▲5.9	▲4.8	▲1.5	3.4	▲4.4
前年同期比	—	—	—	—	—	▲6.9	▲10.9	0.8	▲5.6
出荷	97.4	97.7	100.0	100.9	90.5	95.3	88.6	92.5	86.2
前期（年）比	4.3	0.3	2.4	0.9	▲10.3	▲4.7	▲7.0	4.4	▲6.8
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.7	▲17.4	▲3.0	▲12.2
在庫	82.5	91.4	100.0	105.0	105.7	106.7	106.9	103.3	106.1
前期（年）比	▲4.5	10.8	9.4	5.0	0.7	0.9	0.2	▲3.4	2.7
前年同期比	—	—	—	—	—	1.0	3.0	▲2.3	1.1

